

を出し合います。

<みんなからの意見やアドバイス例>

- ・どっと爆笑係・・・・・・・・・・だじゃれコンテストをしてほしい
一発芸大会を企画してほしい
手品をしたら楽しいよ
- ・〇〇〇ぼらんていあ係・・・・一日一善でがんばってる人を表彰してほしい
クラスだけでなく全校にあいさつが広まるように企画したら など

2 係活動の計画時間を確保する

活動がうまくいくには、場所、物、時間の確保とされています。活動場所（係ごとに教室のどこに集まるか決めておきます）と活動するための物（紙やマジック、関係する本などを入れた係の箱を棚に置いています。）は、比較的確保できるのですが、時間については教師が子どもたちの状況に応じて設定しないと確保できません。

私は、週一回の朝の時間、月 1 回の学級活動の時間を計画・活動時間に当てています。時々、係グループで給食を食べ、係のことについて話し合うこともあります。

3 月ごとの活動計画を教室の係コーナーに掲示する

係活動の再編をしたとき、係活動のポスター（係名、メンバー、めあて、活動など）を作りますが、その中に「月の活動コーナー」をポスターの下半分くらいにとっています。月ごとに、誰がどんな活動をいつするのかと、その活動の振り返り欄を書き、月ごとにコーナーに貼っていきます。

この手法は、学期の途中からでもできます。（今ある係ポスターの下に貼るとよいです。）

具体的に自分たちのできそうな活動を決めて掲示し、クラスのみんかも掲示を見て楽しみにしているので、楽しみながら責任を持って係活動ができます。

<活動例>

どっと爆笑係の〇月の活動

（活動） （担当者） （いつ） （振り返り）

だじゃれコンテスト：Aさん Bさん：〇月〇日～〇月〇日に募集： ◎

コンテスト〇月〇日 給食時間：◎

※係活動のポスターなどについては、ホームページ上の HTML 版メルマガに写真をアップしておきます。そちらをご覧ください。

4 学級の提案箱のそばに「係にお願いカード」を設置する

クラスの意見や願いを自由に入れる提案箱を設置しています。その中の一つに「係にお願いカード」があります。この係にこんなことをしてほしいという意見を自由に入れられるようにしておくと、係活動が活性化します。

参考：提案箱には下記のカードを設置しています。

学級会の議題提案カード，クラスみんなにお願いカード

係にお願いカード，先生にお願いカード

※それぞれのカードについて，ホームページ上の HTML 版メルマガにアップしておきます。

5 活動した係をみんなでほめる

一週間の終わりに帰りの会で係活動の振り返りをし，活動した係をみんなでほめます。活動してよかったという満足感があると，次の活動の意欲につながり，自主性も育ってきます。

係活動でつきたい力と教師の支援や活動再編成までの仕掛けについて，前学年で当番的な活動を係活動としていた場合の係活動編成等については，また，別の機会に特集でお知らせします。

係活動をしたら自分もクラスも楽しくなった，よりよいクラスになったという実感が持てるように，一人一人の願いや特性を生かしながら支援をし，成功体験をたくさん積みせたいと思っています。こんな係や係からの企画があるよという情報，ぜひ，お待ちしております。

2 学級通信を考える～序章

山口市立平川小学校 梶田崇晴

学級づくりの有効なアイテムの一つに「学級通信」があります。

学級通信というものは何枚出そうが，いつ出そうが自由です。・・・ということは，裏を返せば担任の都合でいつでも出せるということです。このような学級通信ですからねらいを持って計画的に発行していけば，いろんなことが期待できるのではないかと思うのです。

昨年度から，立場上多くの先生方の学級通信を見せていただけるようになりました。学級通信というものは，まさに個性の表れだなと，最近つくづく思うようになりました。

私個人は，学級通信大好き人間です。これまでの最多記録は年間360号です。1年間の授業日をはるかに超える枚数です。この通信を見るたびに，「よく書いたものだ」と我ながら感心しています。何が私を学級通信づくりに向かわせたか？定かではありませんが，あえて述べるとすれば，学級通信が学級づくりのために大きな意味を

持っていると感じているからでしょう。そんな学級通信は、担任としての私のライフワークでした。

そんな私も、新任の年は年間3枚の学級通信を書いただけでした。それが私のスタートです。教員4年目、誘われて行ったサークルで、学級通信は学級づくりの大切な柱であると主張する人と出会いました。その人の話を聞いてから「学級通信はただの家庭通信」という私の思いは180°変わってしまいました。それ以来、学級通信に対する思いが大きくなり、今日に至っています。肩肘張らず、特別なことではなく、ごく自然に書くようになったというわけでしょう。

学級経営は、学校（担任）と保護者と子どもが一体になった時、よい方向に向かって動き出します。と考えると、学校と保護者と子どもを一本の線でつなぐ何かが必要になってくるわけです。その一本の線の役割を学級通信なら果たせるはずである、というのが私の考えです。・・・というわけで、これまでに書き綴ってきた通信を見ながら、学級通信について考えてみることにしました。次回から、ミニテーマを設けて綴ってみたいと思います。

3 メルマガ情報交換広場

このメルマガを使って、学級作りについての情報交換をしませんか？メルマガ購読者のみなさんの実践をお知らせください。このメルマガを双方向の情報交換誌にしていきたいと思います。

- ◆盛り上がったイベント活動の情報～イベント名や活動の内容
- ◆私の学級の朝の会・帰りの会のプログラム
- ◆子どもが本気になった係活動

こんな情報が知りたい、こういう特集を組んで欲しいというものがありましたら下記アドレスまでメールでお知らせください。

☆ sugi-net@c-able.ne.jp

5 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第16号は10月下旬ごろ発行予定です。

次号では、「子どもが主体的に取り組む話し合い活動その6～司会者を育てる～」について紹介する予定です。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は116名です。先日から希望の会メーリングリスト，学級活動メーリングリストで紹介させてもらいましたら，一気に購読者が増えました。とってもうれしいです。もっともっとメルマガ仲間を増やして，いろんな実践を交流し合いたいものです。

お知り合いの方にこのメルマガを紹介してもらえませんか。

登録については，山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆ブログ開設のお知らせ◆◇◆

学級づくりについて，ちょっと思ったことや考えたことを綴ってみたくなりましたので，このたび無謀にもブログなるものを始めてみました。明治図書さんの「Eduブログ」を使わせてもらっています。いつまで続くか不安ですが，もし興味ある方はのぞいてみてください。

<http://edublog.jp/moomin/>

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小）

津村元文（防府市立西浦小）

能勢雅子（山陽小野田市立高千帆小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

=====